

製・配・販連携協議会  
今後の運営方針について

2016年7月15日

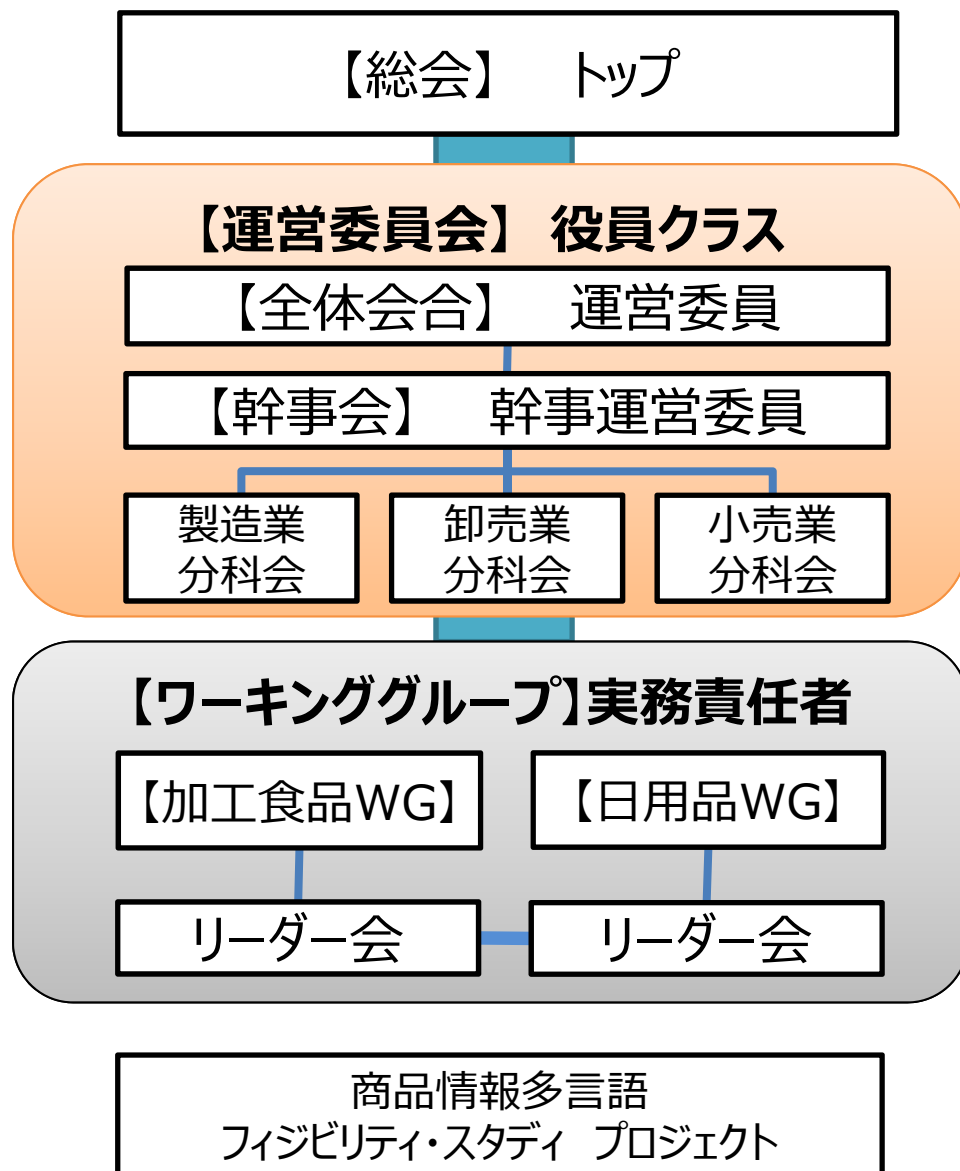
製・配・販連携協議会 事務局

# 製・配・販連携協議会 今後の運営方針について

---

1. 2016年度の組織体制
2. サプライチェーン イノベーション大賞2017公募要項
3. 新規加盟企業
4. 今後のスケジュール

# 1. 2016年度の組織体制



1年間の検討結果報告に加え、企業トップが今後の方向性について意見交換  
 当年度 優秀企業の取り組みに対し表彰  
 開催頻度：年1回

運営委員会・幹事会を各層別に2～4社選任し、設置。各層別の分科会の意見を集約しつつ、実質的な議論を通じて、今後の協議会活動方針の審議・立案を行う。  
 製：加食2社、日用品・化粧品2社、医薬品1社。計5社。  
 配：加食1社、日用品1社 計2社。  
 販：GMS1社、SM1社、CVS1社、DGS・HC1社 計4社。  
 開催頻度：幹事会2～3回、層別分科会1～2回  
 全体会1回

加工食品WGと日用品WGの2つのWGを設置。製・配・販各層からリーダー2社を選任し、リーダー会を組織。業界ごとのリーダー6社により、WG座長・サブ座長を選任。  
 開催頻度：2～3カ月に1回程度（リーダーミーティングは2ヶ月に1回程度）  
 ※共通テーマは合同開催等の連携を図り、効率的なWG運営を行う。

有志事業社が集まり情報共有。  
 開催頻度：3～4カ月に1回程度

## 運営委員会について

---

- 製・配・販連携協議会は、2011年に正式発足し、第1期3年間(検討フェーズ)を経て、第2期3年間(実行フェーズ)の最終年を迎える。そこで、各層企業の意見を集約し、協議会の今後の方向性を議論・検討する。
  - － 幹事会(製5社・配2社・販4社)の設置
  - － 層別分科会の開催
  
- 論点(案)
  - ✓ 製・配・販連携協議会の今後のあり方(継続要否等)
  
  - ✓ 「返品削減」「配送効率化」「情報連携」等の進め方
  
  - ✓ 活動理念「ビジョン」の見直し
  
  - ✓ 表彰制度の運営

# 加工食品WG・日用品WGについて（業界全体への普及啓発）

- 加工食品WG・日用品WGでは、実態調査・進捗報告、事例共有、効果検証を行うとともに、策定した手引書を活用し、業界団体や地域組織など関係機関へ取組み内容を共有し、業界全体への普及啓発を進める。

## 【加工食品WG】

返品実態調査・取組み進捗  
賞味期限表示・納品期限の緩和  
終売・棚替えプロセス事例  
配送効率化事例

## 【日用品WG】

返品実態調査・取組み進捗  
無返品カテゴリーの提案・導入  
終売・棚替えプロセス事例  
配送効率化事例

■返品削減の進め方 手引書  
■配送効率化の進め方 手引書  
普及推進に向けての活動策定および手引書改訂（必要に応じて）

## 業界団体等へ取組内容を共有

〔 小売業、卸売業、製造業の各業界団体、地域組織、  
消費者団体を含む関係機関との連携 〕

実態調査  
進捗報告

↓  
取組事例

↓  
効果

↓  
手引書  
改訂

↓  
**普及  
啓発**

# 商品情報多言語フィジビリティ・スタディ プロジェクトについて

---

- 訪日外国人旅行者(2015年約1,974万人)の買物需要を一層拡大すべく商品情報を多言語で提供するための、製・配・販が連携した共通インフラの構築・運用のあり方を具体的に検討・提示。

## ■ 実証実験

- ✓ 実運用に向けて、訪日外国人/在日外国人に対して、商品を購入するうえで有効であるか、また仕組みの利便性はどうか、実運用に向けた課題は何か、機能拡張に向けて、どのようなニーズがあるか等を利用実績と併せて、検証していくために実証実験を行う。
- ✓ 商品分類などを多言語化して情報提供することにより、訪日外国人/在日外国人の不満を軽減し、買物需要を一層拡大することを目指す。
- ✓ 副次効果として、情報源となる業界データベースの網羅性向上、正確性向上にもつながることが期待される。
- ✓ 実証実験参加企業のメリット
  - \* 実証実験実施要領策定への参画と、詳細な分析内容の入手に加え、
    - 小売業: マーケットチャンス創出(市場動向)および売上増大
    - 卸売業: 訪日外国人市場動向の確認および受注数増大
    - 製造業: 訪日外国人市場動向の確認および販売数増大

## 2. サプライチェーン イノベーション大賞2017公募要項

- サプライチェーン全体の最適化に向け、製・配・販各層の協力の下、優れた取組を行い、業界を牽引した企業に対して、その功績を表彰する。

### ■ 進め方

○受賞を希望する各企業は、選考委員会開催前までに、製・配・販連携協議会ビジョンの理念を最も実現していると思われる事例を、製・配・販連携協議会事務局に提出する。選考委員会は提出された事例を評価し、各賞の受賞企業を決定する。

- ・返品削減に関する取組と成果事例
- ・物流環境変化を踏まえた配送効率化事例など

○2017年総会において、優秀企業を表彰しHP等で公表する。

- ・応募資格:メーカー(製)、中間流通・卸売業(配)、小売業(販)の連携により、サプライチェーン・マネジメントの抜本的なイノベーション・改善を実現した企業 (案)
- ・表彰企業:【大賞】 製・配・販から1社表彰  
【優秀賞】 製・配・販から各層1社(計3社)表彰



### 3. 新規加盟企業

---

- 製・配・販連携協議会への趣旨に賛同し、活動への参加を希望する下記企業に2016年度より新規加盟いただく。

企業名	代表者
ロート製薬株式会社	代表取締役社長 兼 COO 吉野 俊昭 氏



## 4. 今後のスケジュール

---

### ■ 運営委員会

- －2016年7月 幹事委員の決定
- －2016年8月 第1回幹事会、委員長の決定
- －2016年11月 製・配・販各層での分科会
- －2017年2月 第2回幹事会
- －2017年5月 運営委員会 全体会合

### ■ WG活動

- －2016年7－8月 リーダー社、座長の決定
- －2016年9月～ WG活動開始

### ■ 総会／フォーラム

- －2017年 7月7日(金) 15:00～19:00(懇親会含)  
会場: 明治記念館 蓬菜の間